

LPG車の優位性訴求

位田モータータックス カグラベーパーテック 異業種交流展に出展

位田モータータックス(本社・名古屋市、位田幸司社長)とカグラベーパーテック(同・尼崎市、玉井健一社長)は8日、11日、名古屋市で開かれた異業種交流展示会「メッ

セナゴヤ2017」に出展し、LPGバイフューエル車と簡易オートガススタンド「オートコンポ」をPRした。LPGガス単価はガソリンより1リットルあたり約60円

安く、車両を持つ事業者は燃転で増益できる。航続距離が伸び、環境に優しく、災害時の供給不足に強いことも長所である。ドにオートコンポ設置が有利になる。災害時の輸送手段確保に加え、プロパン仕様で発電機や炊き出しセットを備えれば、事業継続性が格段に高まる。行政や地域の信頼が得られ、災対バルク補助金の対象にもなる。

位田社長は「当初は燃費削減ばかり強調していたが、導入した事業者には『行政との災害協定を機に新たな販路が生まれた』と喜んでいただいている」と話す。

カグラベーパーテックは既存チャネルの自動車教習所やオートガスタンド向けを継続しながら、プロパン仕様で需要創造を図る。



LPG車による燃費削減を打ち出した

11月20日付 プロパン・ブタンニュース